

議案番号	議 案 名	賛成しなかった議員
	概 要	
議案第26号	令和6年度津市下水道事業会計補正予算（第3号） 収益的支出 4,530万1,000円 の減額補正、資本的支出 7億9,915万3,000円 の減額補正等	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》ウォーターPPPという、国が主導して水道事業を民間委託していく大きな流れの中にあるとして反対した上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託料が含まれているため、反対する。	
議案第29号	令和7年度津市一般会計予算 こども・子育て支援施策や幼児保育環境の充実、教育関係事業に関する経費、健康づくりや地域医療体制の充実のための経費、福祉関係事業に関する経費、防災機能強化や消防関係事業、防災対策事業などの安全なまちづくりの推進に関する経費、環境関係事業や生活基盤の整備事業に関する経費、生涯学習の推進やスポーツ・文化の振興や市民活動の推進に関する経費、農林水産業や商工業および観光の振興事業に関する経費等 1,316億9,300万円	滝勝弘、中野裕子 長谷川植（拒否）
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》給食費の無償化に部分的にさえ踏み出していないこと、加齢性難聴への補聴器購入補助や認知症事故救済制度の導入などが実現されていないこと、市民のなりわいを支援する政策が足りていないこと、避難所となる学校体育館への空調設備設置の計画が入っていないことなど、暮らし、福祉、教育に関わって、全体として市民の要望に応える予算となっていないことから反対する。	
議案第30号	令和7年度津市国民健康保険事業特別会計予算 療養給付費、国民健康保険事業費納付金等 260億6,416万6,000円 （事業勘定）、医業費等 5,969万4,000円 （直営診療施設勘定）	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》国の責任の後退と加入者の高齢化、暮らしの貧困などが進んでいる。高すぎる保険料を下げるべきと考えることから、反対する。	
議案第31号	令和7年度津市介護保険事業特別会計予算 居宅介護サービス等給付事業、施設介護サービス等給付事業等 312億6,997万1,000円	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》高すぎる介護保険料が高齢者の暮らしを圧迫していることから、さらに負担軽減を図るべきと考え、反対する。	
議案第32号	令和7年度津市後期高齢者医療事業特別会計予算 後期高齢者医療広域連合納付金、徴収事務費等 84億430万7,000円	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》後期高齢者医療制度は、75歳という年齢で全ての医療保険制度から排除し差別する制度であり、廃止すべきと考えることから反対する。	
議案第36号	令和7年度津市水道事業会計予算 受水費、施設維持管理費、減価償却費等 120億2,429万3,000円 （支出）	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》県営水道の必要以上の契約により水道事業会計が圧迫されている。遠くから運んでくる水に頼るより、近くの自己水源を確保することが必要と考える。また、ウォーターPPPという、国が主導して水道事業を民間委託していく大きな流れの中にあるとして反対した上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託料が含まれているため、反対する。	
議案第38号	令和7年度津市下水道事業会計予算 建設改良費、減価償却費、企業償還金等 241億8,277万 （支出）	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》ウォーターPPPという、国が主導して水道事業を民間委託していく大きな流れの中にあるとして反対した上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託料が含まれているため、反対する。	
議案第68号	津市市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について 上下水道事業の職員が逮捕・起訴されたことについて、上下水道業務の執行に関し津市を代表する上下水道事業管理者を任命し、また、市政を統括する市長の責任として、令和7年4月1日から同年5月31日までの間における市長の給料月額から当該額の100分の10に相当する額を減ずる改正	桂三発
議案第69号	令和6年度津市一般会計補正予算（第12号） 学校施設維持補修事業（小学校費および中学校費）、営農継続支援事業、戸籍住民記録事業等の増による 13億6,206万8,000円 の増額補正	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》戸籍住民記録事業に含まれる氏名振り仮名届出事業は、マイナンバー法に基づき戸籍に記載されている氏名の振り仮名を一般に認められている読み方に制限するもので、行政が命名に介入することになるため、反対する。	
議員提出議案第1号	津市議会議員定数条例の一部の改正について 最近の社会情勢や議員定数の削減を求める市民の声などを踏まえ、議員定数を4人削減し、30人とするための改正（改正施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用）およびそれに伴う津市議会委員会条例における常任委員会の委員定数の改正	滝勝弘、中野裕子
	《反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》議員定数は、市民の参政権に関わる大問題であるにもかかわらず、令和6年7月の特別委員会設置から議案提出までがあまりに拙速であり、十分に論議がされつくされていないと感じる。また、議員定数を減らす議論よりも、議員・議会の質をいかにして高め、民意の反映をしていくかの議論の方が大事であると考え、反対する。	